

第2次大阪府歯科口腔保健計画の中間点検・見直しについて

○ 経緯

- ・ 本計画期間は2018年度から2023年度までの6か年
- ・ 計画策定当初は、中間年にあたる令和2年度（2020年度）に、歯科保健を取り巻く状況の変化や社会・経済情勢等を踏まえ、点検・見直し実施を予定
- ・ 新型コロナウイルス感染症への対応に伴い、令和2年度の点検・見直しは延期した

○ 中間点検にかかる調査

- ・ 評価項目の一部（下記4項目）は、例年の進捗管理に加え、別途アンケート調査（意識調査）が必要

区分	評価項目	方針
成人期	過去1年に歯科健診を受診した者の割合	民間のウェブアンケート調査会社に依頼し、令和3年1月に調査実施 ※ 今年度の進捗管理票に反映済み
高齢期	咀嚼良好者の割合	
歯科健診を受診することが困難など配慮の必要な人	介護老人保健施設での定期的な歯科健診の実施の増加	施設での歯科保健の取組について、 <u>今後、実態調査（下記）を実施予定</u>
	障がい児及び障がい者入所施設での定期的な歯科健診の実施の増加	



- ・ 各施設での歯科保健の取組について調査を実施予定

① 調査方法（案）

大阪府内に所在する介護老人保健施設、障がい児・者入所施設等に対して調査票を送付（計画策定時と同様の手法を予定）

※ 感染症の拡大状況によっては集団健診が中断される事例もあるため、調査実施やその時期については、今後の状況を見ながら検討が必要

② 調査項目（案）

- （1）施設の入所定員・入所者の構成
- （2）歯科医師による歯科健診の実施状況
- （3）口腔ケアの実施状況
- （4）歯科保健に関する取組の実施状況
- （5）その他の事項

○ スケジュール（予定）

- 令和3年5～12月 アンケート調査等（調査依頼～集計分析に4か月程度を見込む）
令和4年1～3月頃 令和3年度大阪府生涯歯科保健推進審議会